

タウントーク

あなたの街で

市長と語ろう!



今月は、手稲区のタウントークの模様をお届けします。
11月6日、手稲区民センターに市長が訪れ、「雪と市民生活」をテーマに意見交換が行われました。



2月のタウントークは東区・白石区で開催します。

タウントークに関するお問い合わせは、区役所(14ページ)の総務企画課か市民の声を聞く課☎211-2042へ。内容は、市長のホームページ <http://www.city.sapporo.jp/city/mayor/>からもご覧いただけます。



北海道開発技術センター理事 はらふみひろ 原文宏さん

30年前ころと比べると、除雪レベルが上がリ、地下鉄や地下街などもでき、冬の生活はとても快適になりました。それでもなお尽きない雪の問題——これは除雪などの技術だけでは解決できません。教育などさまざまな面での市のかかわりは重要ですが、雪国に暮らす私たち一人ひとりが、冬の過ごし方を見直す必要もあるのではないのでしょうか。



山の手南小学校教諭 しんぼもとやす 新保元康さん

積雪が多く、かつ人口の多い世界的に見てもまれな都市が札幌です。でも、雪や寒さについて学ぶ機会がほとんどありません。私は、子供たちと雪の結晶の観察や虫などの生き物探しをしたり、除雪の仕組みを学んだりする中で、冬の学習の面白さを広めていきたいと思いました。そこで、多くの方の協力を得て雪についてのホームページを公開しています。また、通学路などに砂をまくボランティアもしています。このように冬の生活の仕方を子供たちに伝えていくことが大切だと考えています。



北海道工業大学教授 かさほらあつし 笠原篤さん

将来にわたって雪が降り続けることを考えると抜本的な対策が必要です。例えば、住宅地では雪を積んで置く場所がなくて困るので、憩いの場としても利用できるようなミニ公園が随所にあるといいですね。また、市民と行政の役割を明確にし、生活習慣も含めたルールづくりをするべきです。行政は豪雪時の危機管理体制の整備や雪たい積場の確保といった仕事をし、市民は路上駐車をしな、道路に雪を出さないなどのルールを守らなければなりません。

市長から

市では、皆さんからの要望の第1位である「除雪」などの雪対策に、150億円以上の経費を掛けて取り組んでいます。市の財政が厳しいため、現実的にはこれ以上予算を増やすことは難しい状況です。雪の問題の重大さを皆さんに理解していただき、一緒に悩み、知恵を出し合いながら解決していかなければなりません。そのために議論する場を設けていきたいと考えていますので、ぜひ地域の中でも話し合っていたいだきたいです。



手稲区タウントーク
「雪とともに暮らす街・札幌のこれから」

